

忠 孝 太 鼓 山 車 解 体 業 務 仕 様 書

忠孝太鼓山車解体業務をこの仕様書に定めるものとする。

1 業務概要

(1) 業務番号

五商委第13号

(2) 業務名

忠孝太鼓山車解体業務

(3) 業務場所

五所川原市字大町506番地4 「立佞武多広場」 地内

(4) 履行期限

契約締結日の翌日から令和8年6月30日（火）まで

(5) 業務内容

ア 業務概要

忠孝太鼓山車の解体及び解体材の撤去・処分

イ 仕様・規格等

項目名（仕様・規格）	数 量	単 位	摘 要
鳶工	25	人	5名×5日
鉄鋼解体職	5	人	1名×5日
ラフタークレーン	5	日	16tクレーン オペレーター付き
セルフローダー	3	日	解体資材運搬
通勤交通費	25	人	5名×5日
雑費	1	式	
解体材撤去費	16.5	t	鉄屑搬出処分用切断
解体材処分費	16.5	t	鉄屑有価（スクラップ自由処分）
諸経費	1	式	

ウ 本業務の範囲に含むもの

忠孝太鼓の取り出し及び指定する場所（敷地内）への移動

エ その他市が必要と認める事項

2 業務場所案内図

別添のとおり

3 提出書類

業務着手届、業務完了届、作業内容報告書（写真付）、その他必要と思われる書類を各1部提出する。

作業内容報告書に添付する写真は業務実施中、業務終了後の写真を添付する。

5 業務実施についての留意事項

- (1) 業務実施に当たっては発注担当者の指示に従うこと。
- (2) 作業に当たっては安全性を十分考慮して実施すること。
- (3) 必要な寸法調整及び施工方法の検討を行うこと。
- (4) 写真撮影に際しては、黒板（あるいはホワイトボード）等に件名を明記するとともに撮影場所が判別できる背景を入れるものとする。
- (5) 施工中は安全確保を徹底すること。
- (6) 廃材・残材等は業者側にて全て適切に撤去・処分すること。
- (7) 納入後、正常に動作することを確認するため、発注者立会いでの検査を実施すること。

6 その他

- (1) 発注者は、受注者の業務履行状況を不相当と認めた場合は、その理由を明示し業務の改善を受注者に求めることができる。
- (2) 受注者は、業務の履行に伴って事故が生じた場合には、直ちに発注者及び所轄警察署その他関係機関に報告するとともに応急処置を講ずるものとする。
- (3) 受注者は、この業務の履行に当たり、発注者又は第三者に損害を及ぼした場合は、発生者の責に起因する事由による場合を除いて、その損害賠償の責を負わなければならない。
- (4) 受注者は、業務の履行による個人情報の取扱いに当たっては、個人情報の保護に関する法律を遵守し、個人の権利利益を侵害することのないよう努めなければならない。
- (5) 受注者は、業務の履行上知り得た秘密を第三者に漏らしてはならず、かつ、他の目的に使用してはならない。契約終了後も同様とする。
- (6) 業務の履行に当たっては、労働基準法その他関係法令を遵守しなければならない。
- (7) 受注者は、施工材料等の適切な品質管理を行わなければならない。
- (8) 受注者は、業務施工現場において発生した発生品については取りまとめて適切に保管し、その処理については発注者の指示を受けなくてはならない。
- (9) 受注者は、常に安全対策に留意し、労働安全衛生規則等に定める現場管理を行うとともに、その他関係法令に対しても十分留意し、事故の未然防止に努めなければならない。
- (10) 受注者の判断において、業務施工現場が危険なため立ち入りを禁止する必要がある場合は、あらかじめ発注者の承諾を受け、その区域を適切に防護するとともに、立ち入り禁止標示の処理を講じなければならない。

- (11) この仕様書に定めのない事項及び疑義の生じた事項は、発注者と受注者がその都度協議の上、決定するものとする。